

A E 減水剤

ダラセム M シリーズ



AE減水剤 高機能タイプ

ダラセム M シリーズ

近年のコンクリートの技術革新には目覚ましいものがあり、それに伴ってコンクリートに要求される性能や品質はますます多様化・高度化しています。

ダラセム M シリーズ は、これからの時代を担う混和剤として開発された、JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」に適合する機能性に富む新しいAE減水剤です。ポリカルボン酸化合物と特殊界面活性剤の複合作用により、従来のAE減水剤より減水性能が高く、また流動性保持に優れた機能を有するために、一般から高強度コンクリートまで良好な作業性を有するコンクリートを作ることができます。

特長

- ◆ 優れたセメント分散性により、単位水量を大幅に減ずることが可能です。
- ◆ 流動性保持に優れた機能を有し、安定した施工性が得られます。
- ◆ 材料分離を抑制し、ブリーディングおよびコンクリートの沈下が減少します。
- ◆ 材料や温度による品質変動が小さく、取り扱いが容易です。
- ◆ 耐久性に優れたコンクリートの製造が可能です。

成分／物性

種類	区分	主成分	外観	密度(g/cm ³)	塩化物イオン量(%)	全アルカリ量(%)
ダラセム M 標準タイプ	AE減水剤 標準形 I 種	ポリカルボン酸化合物 と特殊界面活性剤	褐色液体	1.06-1.09	0.01	1.0
ダラセム M-E スランプロス低減タイプ	AE減水剤 標準形 I 種			1.05-1.08	0.00	1.1
ダラセム MR 遅延タイプ	AE減水剤 遅延形 I 種			1.07-1.10	0.01	1.7

塩化物イオン量および全アルカリ量は分析値例です。

使用方法

- ◆ **ダラセム M シリーズ** の使用量の範囲は、結合材に対して0.5～1.5%（質量）です。本製品の性能は、使用材料や使用条件などにより異なる場合がありますので、目標とするコンクリートが得られる使用量を試し練りによって決定して下さい。
- ◆ **ダラセム M シリーズ** は、単位水量の一部として練混ぜ水に混合してご使用下さい。
- ◆ 所定の空気量が得られない場合は、弊社の空気量調整剤をご使用下さい。
- ◆ **ダラセム M シリーズ** には、ダラセム M、M-E 及び MR のほかに、これらの姉妹品としてダラセム M-7、M-E7 及び MR-7 があります。ダラセム M-E 及び M-E7 は、より高いスランプ保持性が必要な場合に適しています。

JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」による試験結果例

試験項目	AE減水剤 標準形 規定値	ダラセム M	ダラセム M-E
減水率 (%)	10以上	16	16
ブリーディング量の比 (%)	70以下	40	40
凝結時間の差 (分)	始発	-60~+90	+50
	終結	-60~+90	+45
圧縮強度比 (%)	材齢7日	110以上	137
	材齢28日	110以上	129
長さ変化比 (%)	120以下	100	100
凍結融解に対する抵抗性 相対動弾性係数 (%)	60以上	93	93

試験項目	AE減水剤 遅延形 規定値	ダラセム MR
減水率 (%)	10以上	16
ブリーディング量の比 (%)	70以下	45
凝結時間の差 (分)	始発	+60~+210
	終結	0~+210
圧縮強度比 (%)	材齢7日	110以上
	材齢28日	110以上
長さ変化比 (%)	120以下	99
凍結融解に対する抵抗性 相対動弾性係数 (%)	60以上	92

ダラセムMシリーズの使用量：セメント質量に対して0.85%

注意事項

- 雨水や異物が入らないように、また、凍結しないように保管して下さい。もし凍結した場合には、徐々に暖め、融解・攪拌後ご使用下さい。
- 取り扱いに際しては、ゴム手袋や保護メガネなどの保護具を着用して下さい。
- 皮膚についた場合は、速やかに清浄な水で十分に洗い流して下さい。必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った場合は、目をこすらず直ちに清浄な水で十分洗眼した後、医師の診断を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ多量の清浄な水を飲ませた後、さらに吐かせ、医師の診断を受けて下さい。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

詳細な情報が必要な場合には、弊社製品安全データシートをご参照下さい。



GRACE
Construction Products

クレコケミカルズ株式会社

<http://www.gracechemicals.co.jp>

本社	〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目9番6号	TEL:03-5405-2991	FAX:03-5405-2994
札幌営業所	〒060-0062 札幌市中央区南二条西2-18-1 NBF札幌南二条ビル4F	TEL:011-232-1761	FAX:011-222-2782
仙台営業所	〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町2-4-31	TEL:022-238-7388	FAX:022-238-7337
新潟営業所	〒950-0087 新潟市中央区東大通1-3-10 三井生命ビル5F	TEL:025-244-3296	FAX:025-241-6180
富山営業所	〒930-0004 富山市桜橋通り2-25 富山第一生命ビル7F	TEL:076-442-2036	FAX:076-441-8743
長野事務所	〒380-0813 長野市緑町1605-14 長野ダイヤモンドビル内	TEL:026-223-4413	FAX:026-227-9953
名古屋営業所	〒465-0032 名古屋市名東区藤が丘156 IFビル4F	TEL:052-776-8006	FAX:052-776-8007
大阪営業所	〒530-0001 大阪市北区梅田1-12-39 新阪急ビル10F	TEL:06-6348-1737	FAX:06-6348-1935
広島出張所	〒730-0029 広島市中区三川町2-10 愛媛ビル7F	TEL:082-249-2794	FAX:082-249-2784
四国出張所	〒790-0931 愛媛県松山市西石井1丁目9-27	TEL:089-969-7922	FAX:089-969-7923
福岡営業所	〒812-0039 福岡市博多区冷泉町5-35 福岡証券第一生命ビル6F	TEL:092-263-0842	FAX:092-263-0843
厚木工場 技術部	〒243-0807 神奈川県厚木市金田100番地	TEL:046-225-8877	FAX:046-221-7214

ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。
*万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本製品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願いします。